

北八下校区
第4号
(2020年度版)

元気っ子だより

発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会



やしモン♪初めての雪山登山に！（広報誌編集委員 澤田佳知 撮影）

八下中学校区
青少年健全育成協議会

会長 里村昌洋

平素より本協議会の活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。地域の安心、安全を守るべく活動を推進しております。

今年度は誰もが予想しなかったことが起こりました。新型コロナウイルス感染が世界中に広がりました。八下中学校区でも新年度から本協議会の活動はほとんど行うことができませんでした。子どもたちの夢を壊さないためにも我々協議会一同は子どもたちと一緒に未来につなげていける校区へと発展させていきたいと考えております。

北八下校区自治連合会

会長 藤木耕造

平素は校区の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に伴い、会議やイベント等が開催できなくなりました。当連合会に関わりのある堺大魚夜市、堺まつり、堺市民オリピック、北区交流まつり等も中止となりました。感染拡大を防止するためにも、マスクの着用、うがい・手洗いの励行、そして3密を避けるよう、慎重に危機感をもって行動していただくようお願いいたします。

北八下校区

あれこれ



金剛登山

やしモン♪と一緒に



いつもは、北八下小学校5・6年生の引率サポートと一緒に登っていましたが、今年は残念ながら耐寒登山は中止になりました。

その代わりにと、やしモン♪と一緒に金剛山を登りました。年末からの寒波で山頂にも雪が積もっていて、やしモン♪は初めての雪山で大はしゃぎしていました。山



「あと一息」と休憩するやしモン♪



登頂を喜んでいるやしモン♪

災害用備蓄倉庫

中には何が？



北八下小学校と八下中学校に、

災害発生後に物資

を配送するのに時

間がかかるので、

災害用備蓄倉庫を

設置しています。①

避難所生活に最低

限必要な物資（毛

布・簡易トイレ等）、

②職員室前のマン



災害用備蓄倉庫の扉を開けると……

ホールに仮設トイレを設置する資材（小学校のみ）、③救助用資機材（ボール・ロープ等）、④コロナ対策

用資材（サージカルマスク・仕切り用パーテーション

等）を保管していま

す。⑤水・乾パン・粉

ミルク・アルファ米

等の食料は、校舎に

少し保管し、区役所

備蓄倉庫から追加配

送するそうです。

（広報誌編集委員 樺田博）

絆フェス

やしモン♪福笑いの動画撮影



11月22日、北八下小学校体育館

で、例年の「絆フェス」に代わり、

大きく描かれた「やしモン♪」と

人文字を組み合わせてドローン撮

影をするイベントを開催しました。

前日に、模造紙48枚を背景に赤・

黄・黒色の不織布で、縦6m×横

6mの「やしモン♪」を苦労して

作り上げました。当日は、PTAや

地域の方約30名のご協力を得て、



現代版福笑い動画は、YouTubeで
(https://youtu.be/t7HX_Xuxs7M)

人文字や数種類の目と口を入れ替えての表情（21種類）を作り、動画撮影を行いました。
（広報誌編集委員 阪本昌英）

祝！新成人



令和3年堺市成人式

二十歳を迎えた八下中学校卒業生たち。やしモン♪と一緒にハイポーズ。

(青少年指導員会会長 里村昌洋)



新成人おめでとうございます(堺市産業振興センターにて)

やしモン♪グッズ

好評発売中！



絆フェス実行委員会では、地域の繋がりが増すようにと、校区キヤラクターの「やしモン♪」を誕生させました。そして多くの人に親しんでもらえるように、絆フェス実行委員会が中心となり色々とグッズを考案し、製作・販売しています。

最初に作ったマスコットストラップは完売していますが、Tシャツ、クリアファイル、缶バッチ、トートバッグは現在も販売しています。



やしモン♪グッズの数々

ぜひ、購入希望の方は網野までご連絡ください(できればショートメールでお願いします)。(09 034862806) (絆フェス実行委員長 網野尋昭)

人気だったLINEスタンプも現在はスタンプショップで購入可能です。 これからも校区の皆さんのご希望を参考にして新しいやしモン♪グッズを作りたいと考えています。 やしモン♪の維持にも費用がかかりますので、ご購入いただければ幸いです。



一番人気のLINEスタンプ(16種類あります)

これは何？

校区内のどこかに



写真に写っている石碑は校区内のどこにあって、何を意味しているものかご存じですか。 答えは5面の左下の記事をご覧ください。

(広報誌編集委員 松田大佑)



何の石碑？



拡大すると何か書かれていますね

「北八下校区あれこれ」次面につづく

校区探検

小学3年生「高照寺」へ



高照寺のすみやさんは、とってもまじめでやさしい人だと思いました。わたしたちに「みんながとまりにきたんだよ。」と言って子どもたちが高照寺にとまってきた写真を見せてくれました。お寺に来ていた人は、すみやさんの事が好きで、すみやさんもこの町の人たちを大切に思っているんだとかんじました。

わたしも、すみやさんのようなやさしい心を持ち、家族や友だちを大切にしようと思いました。

(3年1組 ふく原ゆうな)



お寺で隅谷さんのお話を聞きました

八下中卒業生紹介

高橋彩華さん



CM撮影前の様子

やしモン♪ダンスの振り付けを考案していただいた高橋彩華さんをご紹介します。

4歳からダンス教室に通い始め、あの有名な登美丘高校ダンス部では、エースとして「日本高校ダンス部選手権」2連覇に貢献され「登美丘のアサちゃん」はテレビでも紹介されました。

大阪芸術大学進学後は、映像制作の勉強に勤しむ傍ら、テレビ・WEBで多数のCMに出演されています。

今春からテレビの映像制作会社に入社されるので、今後益々の活躍を期待して、北八下校区で応援していきたいですね。

(広報誌編集委員 網野尋昭)

各種団体紹介

保護司の活動



保護司とは、犯罪や非行をした人が、再び過ちを犯すことなく早期に立ち直りができるように地域で支える活動をされています。法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員ですが、無報酬のボランティアで、堺市には昨年9月現在で292名、北八下校区では4名が活動されています。



野遠・西教寺の住職でもある神戸さん

保護司は、①保護観察を受けている人に立ち直りに必要な指導や生活上の助言や就学・就労の支援を行う。②少年院や刑務所に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるように生活環境の調整を図る。③犯罪や非行を未然に防ぐために毎年7月に開催されてい

る「社会を明るくする運動」強調月間に、シンポジウムや作文コンテストなど様々な活動を行っています。

北八下地区の代表員の神戸修さんは、「大学生など若い人々に大麻や覚せい剤が広まっています。本人はもちろん、親や地域は細心の注意を！」と呼びかけておられました。

犯罪のない安全で明るい地域社会の実現のためボランティアで活動していただいている保護司の方々に心から感謝を申し上げます。

(広報誌編集委員 澤田佳知)



堺北地区保護司会研修会(2019年度)の様子

八下中クラブ紹介

サッカー部の経験



八下中学校のサッカー部の部員は、八人です。サッカーは十一人制のスポーツです。しかし少ない人数でも負けないように日々練習に励んでいます。

練習の雰囲気は、お互いで悪かったプレーは教えあいながら、ナイスプレーは、全員で褒めあって練習しています。試合では、最初のころは連携がとれず、負けることもありました。しかし試合を重ねていく中で自分たちの意見を相



堺新人8人制大会1回戦



この大会で優勝しました！

手に伝え、仲間の意見を大切に、少しずつ改善することで、段々と良いプレーが増え連携もとれるようになって、最近では八人でも試合に勝てるようになってきました。

その時の仲間と喜び合う時間が最高で、チームみんなで勝利をかみしめています。「どんな不利な状況でもあきらめなければ勝てるんだ。」という自信が湧きました。

これからも試合に勝てるように、チーム一丸となってたくさん練習し仲間との最高の時間を共有して頑張っていきたいです。

(2年2組 高尾真央)

編集委員会

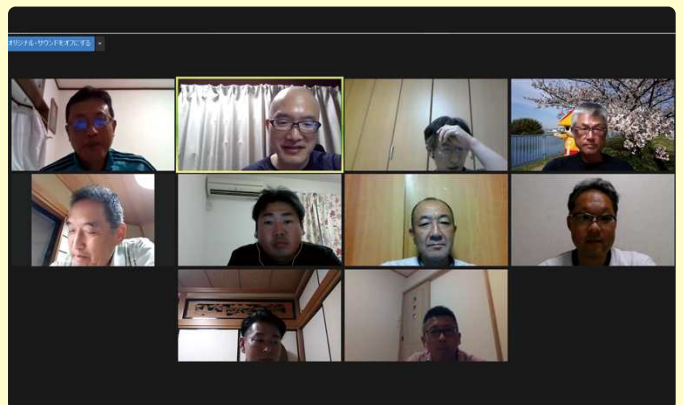
オンラインで開催



3密を避けるため、今年度は本誌編集委員会を、Zoom(ズーム)というオンライン会議用のアプリを使って開催しました。

最初は会議になかなか「参加できない」などのアクシデントもありましたが、次第に慣れ、無事に5回の編集委員会を行うことができました。

(広報誌編集委員 隅谷俊紀)



オンライン編集委員会

これは何?の答え

大池開鑿之碑



八下中学校にある校内プールのおおいけかいさく道^{おおいけかいさく}を隔てた南側にある「大池開鑿の碑」(開鑿とは山野を切りひらいて道や運河を通すこと)です。

北八下村大字中(中村町)は昔から干ばつ(水不足)が長く続き、当時の村長らは長い年月このことを苦にしていました。

そこで大池(堺中央総合卸売市場)の北側を掘って大池を広げる

計画が開始されました。

現在は、大泉緑地の計画で多くの田畑が公園となり池の水が余ることから埋め立てを行い富士ゴルフ場となりました。

時代の移り変わりで変化する地形や風景には感慨深い感じを感じます。

この碑は1901(明治34)年3月15日に設立され、北側の大池取り壊し後、現在地に移設されました。

(広報誌編集委員 松田大佑)

北八下小学校

祝

創立120周年

沿革

江戸・明治から大正時代の様子

江戸時代に文字学習への要望にうながされて作られた「寺子屋」。旧堺市内には少なくとも30箇所以上の寺子屋があったとされ、北八下校区（当時、八上郡）の南花田村には「梅栄舎」と呼ばれる寺子屋が明治元年にできました。教える学科は読書・算術だったと記録されています。



移り変わる校舎(㊤昭和37年、
㊦昭和42年、㊧昭和45年)

明治6年ごろには 第一尋常小学校（野遠）、第二尋常小学校（南花田）が設立されていました。明治14年に新しい小学校の新設を願う当時の保護者や地域の方々からの熱い要望を受け、明

治34年「北八下村立尋常小学校」が中村町に設立されました。

昭和・平成時代の様子

昭和3年には現在の住所に改築移転。名称は「北八下尋常高等小学校」「北八下国民学校」を経て、終戦後の昭和22年には学制改革により「北八下村立北八下小学校」と。そして昭和32年には北八下村の堺市編入に伴い「堺市立北八下小学校」と現在の名称に改称されました。

さらに昭和37年には給食調理室が設置され学校給食が開始。昭和38年から西校舍南、西校舍北と鉄筋校舎が建設されました。昭和48年には体育館兼講堂が完成。昭和52年には校地拡張工事が行われ、新運動場や遊具が設置されました。

平成以降も教科教室の設置や改修がなされ、平成12年には創立100周年、令和2年には120周年を迎えました。

（参考：創立百周年記念誌『朋友』）

（広報誌編集委員 古場俊）

120周年行事



小学校のゆるキャラ「いなほちゃん」

人文字撮影の準備をする児童

11月16日に北八下小学校創立120周年行事がありました。

藤木耕造連合会長と井脇元太PTA会長からお祝いの言葉と、校長から明治時代の創立から今日までの沿革の話がありました。その後、全校児童で「いなほちゃん」の顔を人文字で作り、航空写真を撮りました。PTAから通学時に便利なナップザックと紅白饅頭と人文字の入った下敷きが、記念品として配布されました。

（広報誌編集委員 樺田博）



北八下校区を通る1400年前の最も古い官道

竹内街道



野遠町にある標柱石

今回、本誌編集委員会では、八下中学校の前をとおる「日本最古の官道（国道） 竹内街道」と沿道の由緒ある神社仏閣等を2回に分けて歩いてみました。

この竹内街道は、堺区の大小路から八下中学校の前を通り、松原市、羽曳野市、太子町を経て、竹内峠を越えて、奈良県葛城市の長尾神社に通じる約26kmの日本最古の官道です。日本書紀の推古天皇21（613）年の条に「難波よ

1 回目は夏に、八下中学校前から太子町にある聖徳太子ゆかりの叡福寺まで向かいました。早速、野遠町では「竹内街道」の標柱石を発見。さらに進むと松原市にある旧石器から近世に至る複合遺跡の立部遺跡、羽曳野市の蘇我馬子ゆかりの野中寺を訪れ、1



1 回目目的地の叡福寺

り京に至る大道を置く」と記された「大道」と重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。



竹内峠にある標柱(左大和国、右河内国)

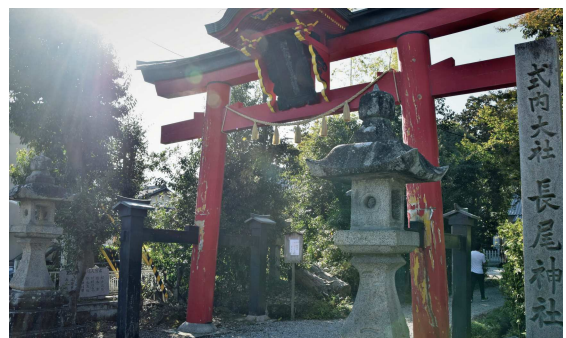
回目の目的地である聖徳太子墓を守護するために推古天皇によって建立された叡福寺に到着しました。

2 回目は秋に、太子町から終着点の長尾神社へ出発。太子町では、かやぶきの古民家「大道旧山本家住宅（国登録有形文化財）」の脇を通り、竹内街道歴史資料館で竹内街道の歴史を学びました。続いて、竹内峠を越え、葛城市にある古代の三重塔が東西一対で残る全国唯一のお寺の當麻

寺を訪れた後、今回の最終目的地、高野街道など様々な街道が交差する交通の要所で、旅の安全を願う人々に信仰されていた。長尾神社に到着しました。

今回の企画は体力的に少し疲れましたが、いつもの道から歴史が伝わってくるような感じで楽しく歩き、北八下校区の歴史ロマンを満喫することができました。

（広報誌編集委員 北口崇）



2 回目目的地の長尾神社



河内木綿と綿の栽培方法



『ふるさと北八下の昔 探訪マップ』の冊子の編集を担当して、北八下地域が江戸時代から明治中期まで河内木綿の産地であったことを学びました（花田の名称は、綿の花と菜の花の産地からとも）。



黄色い綿の花

野遠、南花田、中村で綿を栽培し、綿花、綿糸、機織りした綿布（白木綿、縞木綿）を大阪などに出荷していましたが、明治中頃に輸入綿花の関税が撤廃され、インドの安い綿花や綿糸が大量に輸入されて、この地域での綿作りが衰えました。

平成になって河内木綿を復活させた八尾市や東大阪市の団体より綿の種を取り寄せて、今年度、北八下幼稚園と北八下小学校の4年生が綿の栽培をしました（私も自宅で）。そして綿の実の収穫後、冊子編集委員の^{たつみまさのり}巽正憲先生と^{こまつ}小松^{すがお}清生先生をゲストティーチャーとして幼稚園と



はじけて吹いた綿の実

小学校にそれぞれ来ていただき、収穫した綿について色々と教えていただきました。

綿の栽培方法

5月初旬に準備します。

①種はまく前に一昼夜水に漬けておきます。②1cm くらいの深さに種をまき、上から軽く土をかぶせて、たっぷりと水をやります。③発芽してからは土が乾かないように水をやります。④肥料は成長に合わせて3回くらい施します。⑤

背丈が伸びてきたら茎に添え木をします。⑥背丈が60cm 位になると芯止めをします。

8月ころに黄色い花が咲き始め、花がしぼんで1か月ぐらいうると実（蒴）が大きくなり、はじけて綿が吹きます。1週間後くらいに綿の実を摘み取り、天日で充分に乾燥します。

（広報誌編集委員 増田康夫）

編集後記

今年度は誌面構成を大きく変えざるを得ませんでした……。学校や地域の行事が開催されなかったり、縮小される中、編集委員一同、知恵をしぼって原案を出し、記事を書き、なんとか第4号を発行することができました。「皆が一堂に会し、賑やかにおしゃべりしながら行事に参加できる」。そんな2021年度になることをただただ願うばかりです。（広報誌編集委員長 隅谷俊紀）

『北八下校区 元気っ子だより』 第4号（2020年度版）
2021年（令和3年）3月1日発行（発行部数3500部）
発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会
事務所：堺市立八下中学校内
〒591-8012 堺市北区中村町977-20 電話 072-252-0412
（協賛：北八下校区青少年指導員会）

広報誌編集委員
増田康夫 隅谷俊紀
網野尋昭 北口 崇
阪本昌英 古場 俊
樺田 博 松田大佑
澤田佳知 里村昌洋